

一鳴門市内2拠点目となる「子ども第三の居場所」をオープン 『ふれあいハウス りぼん』開所！

地域の子どもたちが安心して過ごせる「子どもまんなか」の居場所

特定非営利活動法人 ふれあい福祉の会 山びこへるぷ（徳島県鳴門市、理事長 酒井やよい）は、日本財団の助成を受けて2022年5月に徳島県鳴門市内に開所した「ふれあいハウス りぼん」の開所式を7月30日（土）に開催しました。



画像説明「開所式記念写真」「ふれあいハウス りぼん内覧写真」

開所式には、地元から多数の支援者・関係者に出席いただきました。当日は、当法人理事長の酒井やよいが「ふれあいハウス りぼんの開所にあたっての思いや全ての子ども達、そしてご家族の皆さまを地域で支える居場所の一つとして活動を続けていきます。」とご挨拶した後、来賓を代表し、鳴門市長泉 理彦様、日本財団 経営企画広報部部长 木田悟志様より祝辞を賜りました。

「ふれあいハウス りぼん」は、「子ども第三の居場所」が展開する「常設ケアモデル」「学習・生活支援モデル」「コミュニティモデル」の3つのモデルのうち「コミュニティモデル」の拠点となります。地域の小学生・中学生を対象に、さまざまな感性を育むイベントや、ワークショップの実施、学習支援、食事の提供などを通じ、子どもたちが地域の人々との交流を通じて人と関わる力や自己肯定感を育てていきます。開所日のランチタイムは地域の一般の方々（赤ちゃんからお年寄りまで）どなたでもご利用いただけます。

当法人が2019年より市内で運営している「子ども第三の居場所」鳴門拠点（常設ケアモデル）とは異なるタイプの居場所を新たに設けることで、地域の大人の見守りの中で幅広い年齢の子どもたちが安心して利用できる居場所となることを期待し、さらに子どもへの支援を充実してまいります。

「ふれあいハウス りぼん」では今後、夏休みの思い出となるように8月23日に子ども縁日を予定しており、縁日の他に、ギターの生演奏や大型絵本の読み聞かせなどを開催する予定です。また、定期的に地域の人たちと交流できる機会を作っていく予定です。地域の人たちが気軽に立ち寄りいただける、皆さまに愛される居場所にしていきたいと思っております。

「子ども第三の居場所」とは

「子ども第三の居場所」は、すべての子どもたちが将来の自立に向けて生き抜く力を育むことを目的として、日本財団が中心となって2016年より全国に開設しています。「子ども第三の居場所」では、特にひとり親世帯や親の共働きによる孤立や孤食、発達特性による学習や生活上の困難、経済的理由による機会の喪失など、各々の置かれている状況により困難に直面している子どもたちを対象に放課後の居場所を提供し、食事、学習習慣・生活習慣の定着、体験機会を提供しています。同時に、学校や地域、専門機関と連携し、「誰一人取り残されない地域子育てコミュニティ」のハブとしての機能を担っていきます。現在全国に106カ所設置され、2025年度までに全国500拠点の開設を目指しています。(2022年5月現在)

<https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/child-third-place>



子ども第三の居場所
□□